

# にのへ

## 市議会だより

# 学式

### 3月定例会

— CONTENTS —

定例会及び当初予算の概要	2
予算特別委員会	3
条例・補正予算など	7
常任委員会	9
審議結果、賛否の公表	10
一般質問	11
市長演述・教育施政方針 に対する質問	15

59号  
令和3年  
6月1日発行



新たな時代へ 新たな一歩を踏み出す

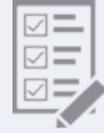
令和3年4月8日に行われた御返地小学校入学式 新一年生4人の皆さん

YouTube でネット中継配信  
二階市議会 ネット中継



当初予算を手早く！

# 予算特別委員会



全議員で構成される予算特別委員会では、委員長に新畑 鉄男議員、副委員長に沼井 賢壮議員が選出されました。

委員会と所管の分科会において、令和3年度の各会計歳入歳出予算の審議が行われ、一般会計と7つの特別会計、水道事業会計の合わせて9会計全ての予算が可決されました。



3月  
定例会

令和3年度予算全9会計を可決

まちづくりを形に、未来につなぐ予算

## 一般会計予算

### 財政の健全化

地方税等が大幅減収となる中で、市の財政は、どこを守り、どこを削るのか。

新年度では、合併に伴う地方交付税の算定替えや合併特例債の発行がなくなることで、さらに市税の減少も見込まれ事務事業の見直しが必要となってくる。また、職員の適正配置にも努め、全体的に見直したうえで必要な事業に予算をつけていくことになる。

### 歳入の確保

歳入の確保は非常に大切なことである。当初予算の中で、市税収率の向上策や収入未済額の解消、未利用資産の処分についてはどのように考えているのか。

市税や税外収入の収率は、県内他市に比べて少し低いので鋭意取り組んでおり、他市との差が縮まってきた。また、税務課

の職員を県の滞納整理機構に継続的に派遣しており、困難事例についても着実に滞納額が減っている状況である。未利用資産については、計画を作り処分にも努めている。

### 選挙の投票率

新年度は市長選挙や衆議院議員の選挙が予定されている。投票率向上については市も努力しているが依然として改善しない。高齢者たちが投票所に向かう移動手段についての考えを伺う。

高齢者に対する移動の支援等も考えているが、費用等の面ですぐに導入できる対策は見当たらない。その他では施設改修、簡易スロープの設置も考えているところである。また、新年度は高校生に選挙啓発や立会人をお願いし、将来に向けて若い世代への対策に力を入れていきたい。

3月定例会は、2月22日から3月12日までの19日間開催されました。初日には、次年度の方針を述べる市長演説と教育施設方針説明も行われた本定例会。本会議や予算特別委員会、常任委員会等で活発な議論が交わされ、審議の結果、令和3年度予算案など市長から提出された議案22件と諮問3件が全て原案のとおり可決、同意、適任とされました。

## 令和3年度 当初予算額 (会計別)

会計別	予算額	前年度対比		
		金額	増減率	
一般会計	157億4,000万円	△12億1,000万円	△7.1%	
特別会計	国民健康保険事業勘定	29億3,817万円	△9,344万円	△3.1%
	特別会計 診療施設勘定	2億2,393万円	1,213万円	5.7%
	下水道事業特別会計	6億9,926万円	△8,875万円	△11.3%
	生活排水処理事業特別会計	4,548万円	△37万円	△0.8%
	簡易水道事業特別会計	1億3,245万円	2,915万円	28.2%
	土地区画整理事業特別会計	6億5,209万円	△3億7,160万円	△36.3%
	介護サービス事業特別会計	1万円	0円	0.0%
	後期高齢者医療特別会計	3億2,826万円	1,297万円	4.1%
	計	207億5,963万円	△17億0,991万円	△7.6%
	水道事業会計	収益的収入	6億7,765万円	522万円
収益的支出		6億7,485万円	344万円	0.5%
資本的収入		3億6,630万円	2,917万円	8.7%
資本的支出		6億2,292万円	3,695万円	6.3%

※端数処理のため計が一致しない部分があります。

「第2次三戸市総合計画後期基本計画」のスタートの年となる令和3年度予算は、後期5年間と、また30年後の未来像を見据えて、計画の着実に推進に取り組む、「まちづくりを形に、未来につなぐ予算」として編成。一般会計と7つの特別会計の総額は207億5,963万円、そのうち一般会計予算は前年度より12億1,000万円減の157億4,000万円となりました。

## 令和3年度の 主な目玉事業

都市構造再編集中支援事業  
4億4,830万円

二戸駅周辺地区土地区画整理事業に併せ、国の都市構造再編集中支援事業を活用し、二戸駅東口駅前広場整備と石切所公民館移転新築を一体的に実施する。



予防接種助成事業  
3,380万円

これまでの助成対象に加え、妊婦のインフルエンザ予防接種や、おたふくかぜの予防接種の費用に助成することにより、子育て世代の負担軽減を図る。



史跡九戸城跡環境整備事業  
1億8,350万円

史跡九戸城跡の環境整備を推進するため、第2期整備実施計画に基づき整備を実施する。



地域医療介護総合確保基金事業補助金  
4,890万円

新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、介護施設等の多床室の個室化に要する改修費を補助する。



Wi-Fiの整備

市の施設にWi-Fiを整備することは不可欠だと思ふ。施設の稼働率を上げるためにも必要だと考えるが、どのような方針で整備を進めるのか。

市の施設には、情報化や防災の観点からWi-Fiの整備を進めることとしている。Wi-Fiが整備されれば、施設内でテレワーク的な使い方も可能であるという視点を持って整備を進めたい。

各種補助金の減額

市の補助金の全体額が、前年度対比で約3400万円の減額になっている。市はどのような考え方なのか。

新年度の予算編成の中で、各団体の状況を聞き、調整を図ったうえで補助金減額の協力をお願いした。特に令和2年度は事業が行われない団体もあつたので、繰越金を考慮に入れて協議したものである。

総務分科会

一般会計予算

新エネルギー政策推進事業の状況について  
電気自動車充電施設の利用状況はどのようになっているのか。

市役所、二戸市総合スポーツセンター、浄法寺総合支所、天台の湯、旧金田一温泉センター、滴生舎の6か所である。電力使用量は年々増えているので普及が進んでいると認識している。

風力発電について

今後の展開はどのようになっているのか。  
調整が進んでいるのは、浄法寺地区にある県の3基を大型の1基にする件である。他には折爪岳、稲庭岳にそれぞれ民間出資による風力発電施設が現在

イベントの実施について

昨年はコロナの影響によりできなかった事業があると思ふが、新年度の予算措置はどうか。イベント等開催の考え方を伺う。

従来行っているお祭り等は、当初予算に組み入れられている。市民の安全・安心を優先し、ワクチンによる沈静化を見極めながら地域経済の回復を考えなければならぬと思っている。



コロナ収束を願い、一日も早く安心とにぎわいのある日常を取り戻したい

国民健康保険 特別会計予算

平成30年度から都道府県単位化によって岩手県が財政的負担を減らす制度に変わったが、この国保運営方針の中で二戸市の国保の運営、財政はどうだったのか。また令和3年度以降の国保料の統一についてはどうなっているのか。

今までの3年間については、基金繰入れ等もなく、単年度収支が黒字で経営的に安定している。新年度は、税率改正の年であるが、新型コロナウイルスの影響を踏まえて納税者の負担を配慮し、令和3年度の税率は据え置く予算編成としている。

国保料の統一については、法定外繰入れをしている市町村では法定外繰入れを解消し、財政の健全化に取り組んでいる。その健全化が図られた上で統一化を目指すものと把握している。

計画されている。

バス運行事業

今年度の事業内容は、地域公共交通網形成計画策定の状況は、

浄法寺地区利用者の声に対応するため、町内中心部での滞在時間延長及び行き帰りの乗車時間短縮、基幹となるJRバスとの接続を考慮しながら路線の改善を行い、実証運行する予定となっている。地域公共交通網形成計画は法改正による制度変更により、名称を地域公共交通計画と改めている。地域の持続化に向けての公共交通の在り方の方向性や課題抽出について検討を進めている。公共交通会議に計画案を提示し、パブリックコメント(※)等を実施する。

※広く市民から意見を募集し、市の考え方を公表する一連の手続き

相馬大作没後200周年記念顕彰事業について

事業の主導はどの課なのか。またその内容は、

1822年没なので令和4年(2022年)をメインにする形で進める予定としており、令和3年度は機運醸成について取り組みたい。顕彰碑を設置しながら九戸城周辺の街歩きと連動させることを考えている。各課で検討している内容を調整し、公民連携推進課が中心となって進めていく。



混沌とした時代に立ち向かうための人づくりに励んだ。(相馬大作石碑)

令和3年度の主な目玉事業

ICT活用促進事業

1,410万円

GIGAスクール推進事業により整備したICT機器をより活用しやすい環境に構築するとともに、教員のICT活用をサポートする支援員を配置する。



相馬大作没後200周年記念顕彰事業

340万円

相馬大作没後200周年を記念して、顕彰碑や記念パンフレットを作成し、功績を顕彰する。



オリンピック・パラリンピック聖火事業

150万円

ホストタウン推進事業

180万円

オリンピック・パラリンピック開催の気運醸成のため聖火リレー等を実施。ガボン共和国のホストタウンとして、イベントや交流会を実施する。



漆振興事業

1,470万円

国有地や市有地等を活用した「漆うるわしの森」の整備や、効率的な原木利用の検討、苗木生産支援などの取り組みにより、漆生産体制の強化を図る。



文教福祉分科会

一般会計予算

がん患者医療用補正具購入費助成金について  
事業導入の経緯は、

助成を県は医療用ウィッグ(かつら)のみとして始め、それに加え市は他市町村、他県の実績を見て検討し、乳房補正具も必要であろうということから今回この2つの助成を始めようとするもの。医療用補正具は医療費の対象になっておらずその部分を助成するものとなっている。

産前産後母子支援事業費

拡充した内容は、  
拡充となったのは妊産婦健康診査交通費助成金と産婦健康診査料・新生児聴覚検査料である。妊産婦健康診査交通費助成金は、出産リスクが高い人に対し

し周産期医療センターで健診を受ける際の助成を行っていたが、加えて来年度から、分娩の際の交通費と待機宿泊が必要になった場合の宿泊料についても助成を拡充する。産婦健康診査料と新生児聴覚検査料は、これまで健康診査及び検査を受ける際、市と医療機関が直接契約をして健診等を受ける方の窓口負担がない形で行っていたが、里帰り等遠方で受ける際、その医療機関と契約ができないケースがあるので、健診等を受けた方が窓口支払したものを、後日市が償還払いで支払うこととしている。

学校給食センター

アレルギーの現状は。  
アレルギーに関して平成28年度が72名、29年度が80名、30年度が88名、令和元年度が82名、2年度が99名と

推移しており徐々に増える傾向にある。2年度の99名のうち除去代替え食を準備している方が34名、給食センターでの対応ができず弁当持参の方が1名それ以外の63名は特に対応していない。

石切所公民館

設計内容等は、  
駅東口から連動した住民相互の交流の場が想定されることから、フリースペースや多目的に使える部屋を兼ね備えた施設として約183坪で設計している。完成時期は11月末を目指す。



石切所公民館(上段・東立面図)(下段・北立面図)

主な議案の内容（当初予算以外）

# 新型コロナウイルスワクチン接種事業費を計上

一般会計補正額は2年度3億2,665万円の減、3年度2億7,783万円の増

**議決**

**辺地総合整備計画の策定について** 可決

辺地とその他の地域との間における住民の生活文化水準の著しい格差の是正のため、辺地に係る公共的施設の整備のための計画を策定するものです。

**契約**

**二戸市防災行政無線（同報系）デジタル化更新工事の変更請負契約の締結について** 可決

二戸市防災行政無線（同報系）デジタル化更新工事の変更請負契約の締結をします。

**契約金額** 4億8002万円

**請負者** 日本電気株式会社岩手支店

**変更の内容** 防災行政無線が聞き取りにくくなった地域へ屋外拡声子局を追加し、66局から73局に変更するものです。

**補正予算**

**2年度一般会計補正予算（第13号）**

事業費の確定見込み及び新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減などです。 可決

**補正額** △2億9962万円

**【主な内容（歳出・増額分）】**

- 地域バス交通支援事業費補助金 4399万円
- 路線バスの不採算路線に対する事業者への補助金

**議決**

**2年度一般会計補正予算（第14号）**

特別定額給付金の確定見込みによる減などです。 可決

**補正額** △2704万円

**【主な内容（歳出・増額分）】**

- 持続化支援給付金 2100万円
- コロナで大きな影響を受けている事業者に対する給付金
- 学校施設衛生設備整備事業 4266万円
- 福岡小学校、仁左平小学校、二戸西小学校のトイレを洋式化するもの

**3年度一般会計補正予算（第1号）**

新型コロナウイルス感染症対策事業などに係るものです。 可決

**補正額** 2億7783万円

**【主な内容（歳出・増額分）】**

- 公共的空間安全・安心確保事業 821万円
- 公共施設等において、ホール等の座席の抗菌処理等を行うもの
- デジタル環境整備事業 1562万円
- オンライン会議用の活用パソコン等の整備及び公共施設等のWi-Fi通信環境の整備を行うもの
- 公共交通施設衛生環境整備事業 4700万円

**人事案件**

**監査委員の選任について** 同意

次の委員の任命について、同意しました。

**【監査委員】**

久慈市大川目町 切金 精氏

**人権擁護委員候補者の推薦について** 適任

次の候補者について、適任とする答申をしました。

**【人権擁護委員候補者】**

- 二戸市福岡 浪岡まゆみ氏
- 二戸市石切所 原涼子氏
- 二戸市下斗米 工藤淑子氏

金田一温泉駅及び斗米駅の公衆用トイレを水洗化するもの

- ひとり親世帯応援特別給付金 672万円
- ひとり親世帯（児童扶養手当支給世帯）に対し、3万円を支給するもの
- 民間保育所等新型コロナウイルス感染症対策事業補助金 180万円
- コロナ対策のための物品購入等に対する民間保育所等への補助金
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 1億2866万円
- 医療機関以外のワクチン接種会場を設置し、ワクチン接種を実施するもの
- 新型コロナウイルス感染症予防対策事業 116万円
- 健診等における感染症予防対策のため、消毒液と滅菌機を購入するもの

## 産業建設分科会

### 一般会計予算

#### 農地移動

農地法3条、4条5条等取り組みは。

市外に住んでいたが、高齢で耕せなくなり、近くの耕作者に権利移動する案件が増え、農地中間管理機構の貸し借りも伸びている。地域で話し合い、耕せる人に耕してもらいたい。

#### 観光協会補助金

補助金減額の理由は。観光協会浄法寺支部にも職員を常駐して観光の充実を。

市財政が厳しくなっていることを受け、事業の見直し等を行い相談し、100万円の減額であればと了承をいただいたものである。観光協会合併の時に常駐の話をあったが1名分の人件費を出すに至っていない。お客のニーズに対応できるように体制をつくっていきたい。

にのへ型テロワール推進事業委託

人件費2名分と受け入れ体制支援組織の立ち上げ支援に係る企画費。年度内の立ち上げを目指す。受け入れ支援組織はボランティアでなく、民間企業も入り、ツアーを組んで有料で二戸を見ていただき、観光客が買い物をし、地元にお金を落とすことを目指す。

岩谷橋工区の工事の見直しは。

白鳥川の上流側に新しい橋の片側部分の工事を進めており、令和3年8、9月頃に片



事業計画により交差点が駅寄りに移動となる予定の駅前駐車場線

### 土地区画整理事業特別会計

#### 駅前口の今後は。

駅前駐車場の整備を実施し、来年、再来年度も駅前駐車場の整備、坊ノ木市民会館線の反対側の浄法寺通り、小学校通りも併せて進め安全な通学路の確保等に努めたい。

## 当初予算案 にかかる討論

### 議案第10号 3年度一般会計予算

**反対** 畠中 泰子 議員

令和3年度予算を考えたときに、最優先すべきは新型コロナウイルス感染症対策と地域の経済、市民の暮らし、健康を守ることだと考える。コロナと闘っていく関係団体への補助金を削るのは大きな問題である。また、人口減少・少子化へどう立ち向かっていくのか。少子化にもっと危機感を持ち、子育てする市民を応援する施策を見せるべきであったと思う。評価する点はあるが、問題を指摘して反対とする。

**賛成** 内沢 真申 議員

人口減少、合併特例債の終了など見直しは明るくないが、堅実な予算が編成されたと思う。新年度は、まちづくりの形が徐々に見えてくるのではないかと。公民連携まち再生事業、二戸駅前整備、九戸城等、これまでの計画が形になると思っている。一方でコロナによる各事業への影響、少子高齢化等の課題はあるが、地域経済の持ち直し、将来を切り開いていくことを望み賛成する。

### 議案第15号 3年度土地区画整理事業特別会計予算

**賛成** 畠中 泰子 議員

これまでの、本会計に反対の立場を貫いてきたが事業を中止することは不可能であり、見直しをして、どの地域でも行政サービスが保障されなければならないという立場で賛成する。今回の見直しでは、市の単独費も少なくなる状況だが、さらにコストの削減、計画の見直しは避けて通れない。有利な国の補助を得る、移転の縮小、工法の見直し等大いに努力をして頂くよう求め賛成とする。

### 議案第17号 3年度後期高齢者医療特別会計予算

**反対** 田口 一男 議員

国会で後期高齢者医療に窓口2割負担を導入する法案が提出されており、長寿社会の中、負担が上げられることになる。後期高齢者医療制度は、高齢者を独立保険から切り離し、保険料の際限ない引き上げを押しつけることで保険料の値上げを我慢するか、医療費の縮小を我慢するかを選択に追い込んでいく制度であり、当予算に反対する。

請願

安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願書

趣旨採択

請願者 岩手県医療労働組合連合会

執行委員長

◆紹介議員 田口一男、畠中泰子

◆要旨 地域住民のいのちと健康を守る立場から、下記の5点について意見書の提出を求めている。①新たな感染症拡大等に対応できるような医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。②公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。③安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員すること。④保健所の増設・保健師の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること及びウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。⑤社会保障に関わる国民負担軽減を図ること。

陳情

岩手県立福岡工業高等学校の存続を求めるための陳情

採択

CHECK! ※趣旨採択(しゅしさいたく) 請願について、願意は賛同できるが実現性の面で確信が持てない場合に、不採択にもできないとしてとられる決定の方法。

◆陳情者 岩手県立福岡工業高等学校同窓会長

◆要旨 岩手県及び県教委に対し、岩手県立福岡工業高等学校の単独校での存続を求める意見書の提出を求めるものです。

議員発議

二戸市議会会議規則の一部を改正する規則

可決

議員の本会議や委員会への欠席事由を明文化して、出産について産前・産後期間の規定を整備するとともに、市議会に対する請願に係る署名押印の見直しをするものです。

◆改正の内容 本会議及び委員会の欠席事由を「公務、疾病、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他のやむを得ない事由」と明文化するとともに、請願者に求めていた「署名押印」を「署名または記名押印」に改めるものです。

岩手県立福岡工業高等学校の単独校での存続を求める意見書

可決

岩手県及び県教委に対し、二戸地域における産業技術の担い手を育成する唯一の工業専門校である福岡工業高等学校を単独校で存続するよう求めるものです。

可決された意見書1件は、関係行政機関へ提出しました。

本会議での質疑応答

辺地総合整備計画の策定について

問 今回、谷地屋敷辺地の人口が条件である50人以上を下回ったため除外されたが、今後、条件に満たない辺地の対応はどうしていくのか。

答 辺地総合整備計画は国の基準に基づいて対応するため、人口条件に満たない場合該当にならないので、過疎債と併せながら対応していく。工夫をしながら財源確保に努め、事業を推進していきたいと思っている。



防災行政無線のアンテナとスピーカー(左側が新型、右側が旧型)

一般会計補正予算(第13号)

地域バス交通支援事業

問 今回、どういった理由があつて変更となつたのか。

答 二戸市防災行政無線(同報系)デジタル化更新事業の変更請負契約の締結について、設置を進める中で、地域によって防災無線が聞こえない、あるいは聞こえにくい地域が生まれてきた。山間部のほうでは聞こえなければ、ほかに市内を走っているものはJRバスの二戸軽米線、東北バスの二戸九戸線等があるが、これらについては地域間幹線系統確保維持事業によって、国と県が2分の1ずつ負担し、維持のための支援を行っている。

問 今回、どういった理由があつて変更となつたのか。

答 漆掻き職人育成事業、市民が漆掻きの地域おこし協力隊となることは可能か。

総務

常任委員会

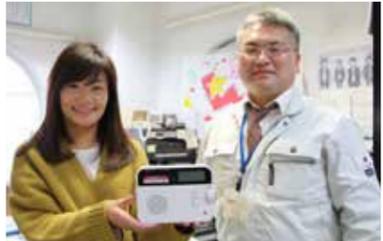
辺地総合計画の策定について

問 辺地の人口が50人を下回った場合は計画を変更するのか。過疎債と比較してどのようになっているのか。

答 策定時の人口で進めるので計画期間の5年間は変更とならない。過疎債の充当率は100%で交付税措置は70%である。辺地債のほうが少し有利ではあるが、地区が決まっているので配分は非常に少なく、大きな計画を立てても実現は難しい。様々な財源と組み合わせて進めたい。

令和2年度一般会計補正予算(第13号)

防災ラジオの発送委託料について



カシオペアFMにて放送された特別番組「教えて!二戸市防災ラジオ」

文教福祉

常任委員会

令和2年度一般会計補正予算(第13号)

生活保護扶助費

問 生活扶助費等が減少した要因は。

答 当初予算では令和元年度10月末現在の状況で予算要求している。そのときには263世帯、305人が保護を受けていたが、令和2年12月末現在で255世帯、302人で8世帯が減少している。令和元年10月から令和2年12月までの間に保護を開始した件数は32件。廃止した件数は40件となっており、廃止のうち死亡による廃止は23件となっている。

コロナ禍で工夫し開催した事業

問 コロナウイルスの影響により中止となつた事業が多い中でも工夫して開催したものは

産業建設

常任委員会

令和2年度一般会計補正予算(第13号)

漆掻き職人育成事業

問 市民が漆掻きの地域おこし協力隊となることは可能か。

答 過疎地域の人は地域おこし協力隊になれない。二戸市は全域が過疎指定になっている。市内の人は日本うるし掻き技術保存会の長期研修制度に応募いただき、選考の上、研修をしている。地域おこし協力隊の活躍を見て、地元の人参加が増えている。生産組合の組合員33名の内、市内の方は33名、内日本うるし掻き技術保存会の研修修了者は20名になっている。

各種観光イベント開催事業費減額

問 祭り等の開催の可否の判断は。



市道館ヶ久保線の地すべりの様子

一般質問

# 市政を問う！

## 4人の議員が一般質問

一般質問は、議員が市政全般にわたり事業の執行状況や考え方などを執行機関に質問するものです。  
本定例会では4人の議員が、下記の項目について質問に立ちました。

石輪 成人 議員 ..... P 11

1. 人口減少対策としての二戸市奨学金制度改革について

田口 一男 議員 ..... P 12

1. 2期最終年度の施策について  
2. コロナ禍の雇用環境の構築について  
3. 持続可能な地域農業について

高村 人司 議員 ..... P 12

1. 市役所窓口のコロナ対策について  
2. 市の施設における除菌対策について  
3. GIGAスクール推進事業とICTについて

畠中 泰子 議員 ..... P 13

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止と暮らしと経済を守る対策について  
2. 福岡工業高校の存続のための対策について  
3. ジェンダー平等と本市の施策について



石輪 成人 議員

## 人口減少対策に奨学金制度の充実を 充実した制度となるよう検討したい

**問** 当市の人口減少の要因は、大学や専門学校等の教育機関がないため進学希望の高校生は卒業を機に地元を離れ、その後都会で就職し帰ってこない若者が多いことにあると考えます。その対策として奨学金（育英資金貸与制度）の改善、拡充を図ることが効果的ではないかと考えるが、現状の二戸市育英資金貸与制度の内容は、

**答** 市長 市内に住所を有する者を対象に、

経済的な理由により就学が困難と認められる高校や大学等に進学、在学する向学心が高い生徒、学生に対して育英資金を貸与し、学ぶ機会が奪われないよう教育の機会均等を図ってきた。直近5か年においては、86人に対し約1億2400万円を貸与し、次代を担う生徒学生の学びに寄与している。貸与月額は、高校は1万5000円、大学等は4万5000円を限度

**問** 育英資金貸与制度の利用状況は、

**答** 市長 高校7人、大学等42人の合計49人が利用しており、その貸与額は約2300万円。一部免除制度は定住化促進を目的に創設され、本年度は11人が免除を受けており、免除額は31万4400円。令和2年3月31日現在、貸与人数は331人、貸与残高は約2億7000万円です。

**問** 平成29年度の制度改正による効果と検証結果は、

**答** 市長 進学の意欲がある生徒、学生に対する教育の機会均等と保護者の経済的な負担の軽減が一層図られることとなったとともに、若干ではあるが定住促進の一助にもつながっている

**問** 今後の制度拡充の可能性は、

**答** 市長 地元就職者に対する返還金の一部免除は、免除割合を含めて更に検証し、より充実した制度となるよう、今後も検討したい。



定住化（地元就職）を促進するため、育英資金返還金の一部免除を実施している

## 審議結果

議案番号等	議案名等	審議結果
1	辺地総合整備計画の策定について	可決（全員賛成）
2	二戸市防災行政無線（同報系）デジタル化更新工事の変更請負契約の締結について	可決（全員賛成）
3	令和2年度二戸市一般会計補正予算（第13号）	可決（全員賛成）
4	令和2年度二戸市国民健康保険特別会計補正予算（第9号）	可決（全員賛成）
5	令和2年度二戸市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決（全員賛成）
6	令和2年度二戸市生活排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	可決（全員賛成）
7	令和2年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算（第4号）	可決（全員賛成）
8	令和2年度二戸市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決（全員賛成）
9	令和2年度二戸市水道事業会計補正予算（第2号）	可決（全員賛成）
10	令和3年度二戸市一般会計予算	可決（賛成多数）
11	令和3年度二戸市国民健康保険特別会計予算	可決（賛成多数）
12	令和3年度二戸市下水道事業特別会計予算	可決（全員賛成）
13	令和3年度二戸市生活排水処理事業特別会計予算	可決（全員賛成）
14	令和3年度二戸市簡易水道事業特別会計予算	可決（全員賛成）
15	令和3年度二戸市土地区画整理事業特別会計予算	可決（賛成多数）
16	令和3年度二戸市介護サービス事業特別会計予算	可決（全員賛成）
17	令和3年度二戸市後期高齢者医療特別会計予算	可決（賛成多数）
18	令和3年度二戸市水道事業会計予算	可決（全員賛成）
19	監査委員の選任について	同意（全員賛成）
20	令和2年度二戸市一般会計補正予算（第14号）	可決（全員賛成）
21	令和2年度二戸市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決（全員賛成）
22	令和3年度二戸市一般会計補正予算（第1号）	可決（全員賛成）
1	人権擁護委員候補者の推薦について	適任（全員賛成）
2	人権擁護委員候補者の推薦について	適任（全員賛成）
3	人権擁護委員候補者の推薦について	適任（全員賛成）
1	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願書	趣旨採択（賛成多数）
1	岩手県立福岡工業高等学校の存続を求めるための陳情	採択（全員賛成）
1	二戸市議会会議規則の一部を改正する規則	可決（全員賛成）
2	岩手県立福岡工業高等学校の単独校での存続を求める意見書	可決（全員賛成）

## 賛否の公表 採決で賛否が分かれた案件の結果です

議案名	1 新畑 鉄男	2 三浦 利章	3 高村 人司	4 石輪 成人	5 沼井 賢壮	6 小田島 行伸	7 畠中 泰子	8 田口 一男	9 駒木 昇	10 米田 誠	11 出堀 満則	12 内沢 真申	13 國分 敏彦	14 岩崎 敬郎	15 田中 勝二	16 菅原 恒雄	18 田代 博之
議案第10号 3年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号 3年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号 3年度土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号 3年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願書	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※「議」は議長、「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席

## 一般議案にかかる討論

議案第2号 防災行政無線（同報系）デジタル化更新工事の変更請負契約の締結について

**賛成** 畠中 泰子 議員

この契約は、屋外スピーカーのほか屋内への情報伝達手段に多様性を持たせるものであり市民も期待している。いずれ市民を災害から守る防災無線の役割は大きくなるものである。デジタル化によって聞こえがよくなった等、様々な実感できるよう現場での設計、施工管理、納入業者等、最後まで調整し努力をして頂くよう強く求めて賛成する。





田口 一男 議員

**問** 2期目の市長就任の残期間で重要課題の自己評価と残された主な政策別総括を伺う。

**答** 市長 2期目の市政運営は第2次総合計画の推進を掲げた次世代に引き継ぐために取り組んできた。分野別では、漆や食

全国トップクラスのブローラーや葉たばこが経済を牽引し、若手の農畜産業の挑戦の動きが出ている。漆の日本遺産、ユネスコ無形文化遺産の登録は、コロナ後

## 2期最終年度の施策について

### 30年後の未来像に向けた土台作り

を見据えた大きな武器になると思う。漆産業の更なる成長には、雇用環境や所得向上につなげていく必要がある。30年後の未来像に向けた土台を基本とした。

**問** コロナ禍の雇用環境は

定住が高まる中、漆掻き職人の通年雇用の閉期対策と漆産地にふさわしい雇用の場の拡充は。

**答** 市長 本市の移住者は、地域おこし協力隊制度の活用による漆や果樹など特徴的な地域資源に魅力を感じて、平成24年度以降16人移住、各補助金の支援で、移住は延べ16件、リフォーム1件や移住体験8件の補助金が活用された。二戸地域の漆掻き期間は、6月～11月となり、他は下刈りや原木の伐採作業を行っている。4名の協力隊の方は独立後、定住し、漆掻きとして冬期間は道具製作技術の習得や時給や漆の金工作、漆材の活用や漆ろう

の製品化を目指している。定住を目指す冬場の就労課題は引き続き支援する。

**問** 持続可能な地域農業は

年々、農林畜産業従事者の減少が顕著に現れているが、地域農業の現状と対策は。

**答** 市長 農業が抱えている問題として、農業後継者の育成、確保は最優先事項である。その対策として取り組んでいる新規就農者育成対策支援事業に



持続可能な農業の実現には、将来の二戸の農業を担う子どもたちへの教育も必要

## GIGAスクールについて伺う

### 校内通信ネットワーク整備は完了

**問** 貸し出す機器はどのようなもので、耐用年数はどれ位か伺う。

**答** 教育長 児童生徒に貸し出すタブレット型パソコンについて、原則児童は小学校卒業まで、生徒は中学校卒業まで同じものを使用する。耐用年数は国の省令で4年と定めているが、実際は5、6年程度使っていると考えている。更新時の状況によっては同じものにならない場合もあると考える。

**問** 機器の破損や故障への対処は。

**答** 教育長 予備のパソコンを使用し、学びに支障がないように努める。

### 窓口のコロナ対策

を整備するもので、年度中の整備を目指し、整備後は試験を行いたい。

合室を増やす対策を行った。それ以外の苦情、要望は寄せられていない。感染対策として職員は出勤前の検温マスク着用の徹底を行って

**問** 現在までの苦情と対策について。

**答** 市長 昨年春、マスクをせずに通りかかった職員がいたとの注意を受けた。申告相談等で来庁者が市民ホールに集中し密状態では、との指摘があり、車でお待ちいただくよう案内を行ったり、会場内の待

**問** 聴覚に障害のある方への対応は。

**答** 市長 手話を使う場合、口の動きがわかるフェイスガードやマウスガード等の準備をしている。デジタル課について



A4用紙サイズ、角部分は衝撃に強いポリマー樹脂が使用されており、ディスプレイは180度開く(※)

※ 実際に児童生徒が使用するタブレット型パソコン

**問** 専門知識のある職員を採用し、デジタル課を設置してはどうか。

**答** 市長 トラブル等の対応は情報管理室、教育企画課職員がそれぞれ対応し、今後とも職員のスキルアップに努める。デジタル課に関し国、県や自治体クラウドを通じ、他自治体と連携を図り対応する。



島中 泰子 議員

**問** 県教委の高校再編後期計画最終案の受け止めと今後の対策は。遠野市は地元高校存続運動推進地元高校魅力化アクションプラン、通学費助成など毎年約1000万円の支援で統合計画を撤回させた。本市も本気の取り組みを。

**答** 市長 当初案のまま統合を進める内容で残念。機械システム科と電気情報科の2学科が工業学科1学科になることが、前年より大きく増加し2学科

## 福工存続のため、本気の取り組みを

### 学びの場を保障するため関係者と協議

合わせて55名の出願者がいる中、県が掲げる専門教育の拠点となる魅力ある学校となるか疑問。福工の魅力を生かし、将来を見据え、専門的な学びを希望する生徒が地元の専門高校で安心して学習できる場を保障するため、学校のあり方等、地元関係者と協議していく。

**問** 福工は地域を果たしており、当初案と変わらぬ方向が示され大変遺憾。2学科が1学

科になることは生徒の多様な選択肢が狭まり、専門的な学びが薄れ、専門高校としての魅力が大きく損なわれ、生徒の学びのあり方に多大な影響を及ぼすことと危惧する。今後、福工のあり方について地元関係者と協議していく。

### ジェンダー平等

**問** 森会長の女性蔑視発言は男女格差指数世界121位の日本の政治と社会の問題点をあぶり出した。ジェンダー平等で男女共同参画計画の見直しを。

**答** 市長 女性への暴力の根絶、家庭や職場に活躍する、意思決定の場に平等に参画する等について第2次三戸市男女共同参画計画において掲載し事業を進めている。今後、国の計画や県のプラン等を踏まえ見直しに着手し、その中でSDGsのゴール達成とも整合性を図っていく。



27億円をかけ整備された県産木材使用の新校舎で新年度をスタートした福岡工業高等学校

【二戸創生クラブ】

# 市長演述・教育施政方針説明に対する質問



田代 博之 議員

## 4人の議員が質問

定例会初日に行われた市長演述と教育施政方針説明に対して、各会派より代表者質問形式にて4人の議員から質問がありました。

田代 博之 議員 ..... P 15

1. 新型コロナウイルスへの対応について
2. SDGsを見ずえた事業について
3. 空き店舗の活用について
4. シティセールスについて
5. 浄法寺漆について
6. コミュニティスクールについて
7. 九戸城跡整備事業について
8. 相馬大作没後2百周年記念顕彰事業について

三浦 利章 議員 ..... P 16

1. 移住と空き家バンクの運用について
2. 健康寿命の延伸と浄法寺地区のコミュニティバス路線の見直しについて
3. 合併以来、急激な少子高齢化と人口減少が進んでいる浄法寺地区について、どのようにして魅力あふれるエリアにしていくつもりなのかについて
4. 人口減少や社会情勢の変化をふまえた持続可能な行財政運営について

岩崎 敬郎 議員 ..... P 16

1. 各分野における目玉政策は？
2. 財政計画の見直しは？
3. 前期計画の未達成はどうか？
4. 次期市長選について

畠中 泰子 議員 ..... P 17

1. 市長演述について
  1. 第2次二戸市総合計画後期計画の方向性の新しい4つの視点について
  2. 子ども・若者・女性について
  3. 暮らし・安心・健康について
2. 教育施政方針説明について
  1. 子どもの貧困への対応について
  2. 学校給食について

## アフターコロナのシティセールス計画は効果的に魅力発信、二戸ファン獲得へ

**問** 二戸の観光業は物産、食品、宿泊、交通とあらゆる業種に恩恵が及ぶと考える。各課を超えてオール二戸市で取り組むべきと思うが、コロナ収束後の二戸市のシティセールスへの計画を伺う。

**答** 市長 二戸市の地域資源である生漆や漆器、果樹、農畜産物や世界に通用する日本酒など、世界的遺産である九戸城跡や天台寺、自然遺産である折爪岳のヒメボタルなど、他

の地域に勝る魅力あるものを情報発信することにより県内外の応援を頂き、交流人口、関係人口の拡大や産業活性化の根幹をなすものであり全庁的に取り組んできた。これまでの海外発信事業や首都圏でのアンテナショップ出店、本市出身者へPRを行う他、ふるさと納税返礼品の見直しも行っており、多くの方々とのつながりや広がりを見せてきている。日本遺産認定やユネスコ無形文化遺産登録と

いう形で漆を中心とした地域が評価を頂いた事は大きな励みとなっている。民間の柔軟な発想やアイデアを頂きながら、二戸市の強みや魅力を効果的に発信し、二戸ファンの獲得や関係人口の増加につなげていく。

**問** コミュニティスクールを市内すべての学校に導入する際の運用や規定、スケジュールについて伺う。

**答** 教育長 コミュニティスクールは学校運営協議会制度を導入した学校の事で、学校運営協議会とは、学校の運営に関する意見の申出、学校への支援活動の検討等について地域の意見を取り入れながら協議する学校の運営システムである。この制度を導入することで地域と共にある学校づくりが更に進む。市教育委員会では令和4年4月からの始動を目指し、運営の基となる学校運営協議

会規則を令和3年4月から施行する。各学校の学校運営協議会委員を地域の方や保護者、教職者、学識経験者等から校長が推薦し、教育委員会の承認後、学校運営協議会を開催する。



様々な課題を学校と地域がともに連携、協働し、解決していく仕組みのひとつがコミュニティスクール

# 市長演述並びに教育施政方針説明 要旨

## 市長演述 要旨



藤原 淳 市長

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、依然として収束の兆しが見えない状況となっております。コロナとの対峙が続く中、引き続き、国の交付金等を活用しながら、切れ目なく対策を講じて参ります。令和3年度は、二戸市総合計画・後期基本計画のスタートの年となります。

前期5年間におきましては、人口減少、少子高齢化が進行する中、「元気で生きがいを持って暮らせるまちづくり」を目指し、各種施策を展開して参りました。

後期5年間におきましては、これらを基盤とし、更に発展させるため、すべての施策に共通する「人づくり」・「公民連携」と、時代の変化に対応するための「新しい4つの視点」、

1. 新型コロナウイルス感染症と「新しい生活様式」への対応
2. 持続可能な開発目標（SDGs）を見ずえた事業の展開
3. Society5.0を背景にしたデジタル化やICTの推進
4. 人口減少や社会情勢の変化をふまえた持続可能な行財政運営

を念頭に、本市の強みを最大限に活かした未来につながるまちづくりを、市民の皆様とともに推進して参ります。

新型コロナウイルス感染症は、社会や経済に大きな打撃を与える一方、その影響は、新たな社会構造に向けた「変革」のきっかけとなっているところであります。変化に対して受け身になることなく、自らが率先し、将来を切り開いていくとともに、総合計画・後期基本計画をまちづくりの指針とし、各種事業を展開することで、30年後の未来像「人が輝き 未来をひらくまち にのへ」の実現に向けて取り組んで参ります。

(抜粋・一部要約)

## 教育施政方針 要旨



鳩岡 矩雄 教育長

二戸市教育委員会では、二戸市教育振興基本計画の基本目標である「学びの広がるまちづくり、未来を拓く人づくり」を目指した取組を進めて参りました。令和3年度は、その基本目標をそのままに、「第2次二戸市総合計画後期基本計画」との整合性を図りながら、持続可能な開発目標SDGsの考え方を踏まえ、新たに策定した「二戸市教育振興基本計画」をスタートさせます。

令和3年度教育行政の諸施策の中から主要な5つの事業について申し上げますと、第1に、学力向上推進事業であり、「東京学芸大学連携事業」「教育研究所事業」「スクールタイアップ事業」のいわゆる学力向上の三本柱を中心とした取組を進めて参ります。第2に、GIGAスクール推進事業であり、児童生徒一人一台のタブレット端末を配備し「情報活用能力」の育成を図って参ります。第3に、コミュニティスクール（学校運営協議会制度を導入した学校）の推進であり、学校や地域の課題を、学校と地域がともに連携・協働し解決していくための仕組みの一つとして取り組んで参ります。第4に、郷土理解の推進であり、槻蔭舎きぼう塾、ジュニア槻蔭舎きぼう塾に加え、ふるさと

探訪塾を新設し事業を展開して参ります。第5に、九戸城跡整備事業については、引き続き、歴史を感じ、学び、未来へ継承していく空間づくりを行いながら、九戸城跡の保存活用に努めて参ります。

新型コロナウイルス感染症拡大等により大きく社会が変動する中において、教育委員会、学校、家庭、地域並びに関係機関が連携した取組を一層強化していくことが求められていることから、今後におきましても、国や県の動向を注視しながら、更なる二戸市の教育振興を図って参ります。

(抜粋・一部要約)

【市民クラブ】



三浦利章 議員

### 移住と空き家バンクの運用内容は

#### 情報発信し利用拡大を推進する

**問** 具体的にどのような活用になるのか。

**答** 市長 主な流れとしては市が主体となり運営し、登録を希望する空き家所有者の情報をホームページ等で提供し、この情報を基に空き家利用希望者が物件を見て申込み、購入や賃貸を行う仕組みとなっている。また不動産取引は、当事者間でのトラブルにつながるおそれもあるため、宅地建物取引業協会の協力を得て、利用者の仲介、交

渉を行っていただくこととして協議を進めている。より効果的な利用につながるよう、観光協会のホームページとも連動して情報発信することとしており、4月からの運用を目指して進めているところである。

**問** 後期計画後、5年後10年後の予算規模はどれくらいになると予想されるか。

**答** 市長 令和3年度当初予算編成は、前期計画初年度とほぼ同額の157億4000万円として編成したところである。加えて、2月8日臨時議会において、国の令和2年度第三次補正対応として、道路新設改良舗装事業等の事業費7億1300万円ほどを令和3年度に繰り越すこととしており、それを含め

ると160億円を超える規模となる。5年後の令和8年度は約138億程度、10年後の令和13年度においては、基本的には令和8年度と同様、財政規模は縮減傾向にあると想定し、歳入規模に見合った歳出の編成を前提に131億円程度と見込んでいる。



空き家バンクを利用し、移住やビジネスにつなげることで地域活性化を図りたい

【政和クラブ】



岩崎敬郎 議員

### 財政計画の見通しは

#### 令和7年度標準財政規模143億3000万円

**問** 総合計画各分野において目玉と位置づける事業は。

**答** 市長 事業の見直しを行い、予算規模を

域を巻き込んだ事業への機運を高める。各分野においては、重点94事業を中心として、漆関連では職人育成や計画的な植栽など、浄法

**問** 財政計画の見通しはどのようなものか。

**答** 市長 投資的経費は前年対比で約8億3000万円、43・2

を図ったことによる影響が数値として現れている。市税、交付税の減少を推測し、歳入縮減に見合った今後の予算規模推計としては、

開を図っていききたい。極力有利な起債を取り入れ、単年度プライマリバランスの黒字を原則としながらも大規模事業実施の際は、後期計画5年間の中期財政フレームを設定し、平準化によるプライマリバランス黒字化堅持と他事業への影響の緩和を行う。

抑えつつも時機を逸しない事業選択と集中に努めた。二戸駅東口の駅前広場整備や、石切所公民館の移転新築を進める。金田一温泉、九戸城跡、天台寺の各地区に磨きをかけていくとともに、公民が連携して進めているカタルテラス金田一のオープンに向けた、地

寺漆の産業化を推進する。農畜産業では、魅力ある農畜産物のブランド化と販売手法などの工夫による高付加価値化に努める。国の令和2年度補正と令和3年度当初を一体的に編成する15か月予算として、建設事業を進め、安全、安心な生活インフラの整備を推進する。

%の減となり、公債費比率も4・4ポイント下がっている。令和2年度に緊急自然災害防止対策事業や防災無線等整備事業、クリーンセンター延命化に係る広域負担金、金田一近隣公園整備事業などの大型事業が集中したこと、道路新設改良事業等の前倒しによる縮減

後期計画最終年度の令和7年度において標準的な財政規模を143億3000万円程度、10年後の令和12年度で134億8000万円程度と見込んでいる。ソフト・ハードにかかわらず、選択と集中により政策的事業を時機を失することなく、やるべきときにやるという展



完成時期は11月末を目指す、石切所公民館

【日本共産党】



畠中泰子 議員

### 危機的な少子化に本気の取組を

#### 将来を見据えた堅実な行財政運営に努める

**問** 平成26年度比で本市の出生数はマイナス32%で危機的な少子化となっている。他市町村並の子育て支援が出来ないのであれば、土地区画整理事業など大型事業の見直しを。

**答** 市長 各事業の選択と集中に努め、国や県の動向を注視しながら、積極的な財源の確保を図り、有効的な施策を展開していかなければならない。

**問** 本市のマイナンバーカードの普及率は16%。国民健康保険証利用は慎重に対応を。デジタルに対応出来ない市民を置き去りにすることがないように。

**答** 市長 国の施策であり、窓口で説明対応や制度の周知など円滑な事業導入に努める。当面はマイナンバーカードでも通常の保険証でも両方使える。

**問** 本市のマイナンバーカードの普及率は16%。国民健康保険証利用は慎重に対応を。デジタルに対応出来ない市民を置き去りにすることがないように。

**答** 市長 保健師が訪問係部署によるフォロー会議で情報共有し、子育て支援や福祉サービスにつなげており、市内の相談支援事業所には医療的ケア児等コーディネーターが配置され、個々の発達段階に応じた支援を行っている。今後、県の支援方針を踏まえ、市内の相談支援事業所など関係機関とも連携して支援の充実に努めていく。

**問** 子どもの貧困対策。給付型奨学金、子ども食堂、地域の学習室開設など、きめ細やかな対策の構築を。

**答** 教育長 子どもが家庭環境に左右されない、経済格差が学力格差につながらないように、学習教育によるきめ細やかな指導の充実や貧困家庭の子ども達を早期の段階で福祉制度につなげていくことができる体制等が必要と認識し取り組んでいる。市育英資

金は返済猶予や地元就職者に対する返還金一部免除等の充実を図ってきた。今後、定住化促進の一方策として返還金の免除割合を含め検討する。子ども食堂は民間が主体となって実施することが望ましい。きめ細やかな学習指導の充実が図られるよう引き続き学校を支援していくので、地域の学習室の開設は考えていない。

### マイナンバー利用拡大

#### SDGsの事業展開

#### 医療的ケア児への支

#### 子どもの貧困対策



土地区画整理事業の説明会の様子 (3月24日 石切所公民館)

議会活動の報告 (2月から5月)

- |   |  |   |
|---|--|---|
| 2月3日<br>閉会中の産業建設常任委員会                   | 3月12日<br>議会運営委員会<br>議会改革検討委員会              | 5月7日<br>議会改革検討委員会                                 |
| 2月8日<br>議会運営委員会<br>令和3年2月臨時会<br>議員全員協議会 | 3月25日<br>広聴広報委員会 広報部会                      | 5月12日<br>広聴広報委員会 広報部会                             |
| 2月16日<br>議員全員協議会<br>会派代表者会議             | 4月2日<br>議会改革検討委員会                          | 5月14日<br>議員全員協議会<br>議会改革推進協議会<br>ICT推進プロジェクトチーム会議 |
| 2月18日<br>議会運営委員会                        | 4月8日<br>議会改革検討委員会                          | 5月21日<br>カシオペア連邦議会議員協議会役員会                        |
| 2月22日～3月12日<br>令和3年3月定例会                | 4月15日<br>議員全員協議会<br>議会改革推進協議会<br>議会改革検討委員会 | 5月31日<br>議会改革推進協議会<br>ICT推進プロジェクトチーム会議            |
| 3月11日<br>会派代表者会議                        | 4月23日<br>ICT推進プロジェクトチーム会議                  |   |



請願・陳情のしかた

市政に要望がある時は、市議会に請願書や陳情書を提出することができます。

＜ 請願と陳情のちがひ ＞

- ・請願は紹介議員の署名または記名・押印が必要です。
- ・陳情は紹介議員を必要としません。

＜ 請願・陳情の取扱い ＞

- ・請願と市内の方が提出した陳情は市議会で審査し、採択の場合は関係機関へ送付します。
- ・市外の方からの陳情は、市議会より議員に配付します。

＜ 記載していただく事項 ＞

- ① 提出年月日
- ② 提出者の住所・氏名（署名または記名、押印）
- ③ 請願・陳情の要旨、理由
- ④ 請願の場合は、紹介議員1人以上の署名または記名・押印

＜ 記載例 ＞

(表紙)  
請願(陳情)書  
〇〇〇〇について  
紹介議員  
氏名 〇〇〇 印

※陳情の場合は表紙は必要ありません。

(本紙) 令和 年 月 日  
二戸市議会議長 様  
請願(陳情)者の住所  
氏名 〇〇〇 印  
〇〇〇〇〇〇について  
請願(陳情)の要旨  
請願(陳情)の理由



ご意見箱

このコーナーでは、クイズにご応募いただいた皆さまから寄せられたご意見、ご感想などをご紹介します。

声のひろばを読み、とても共感しました。5人の子宝に恵まれるも、働き先がないことから、今は1人しか二戸市にいません。働く場所が増えることを期待します。  
(石切所・57歳 女性)

二戸市議会議員として、緊張感を持ち、誠実に、あらゆる事態に真摯に取り組んでください。  
(福岡・69歳 女性)

前議長の不祥事は非常に残念に思いましたが、今後はよりよい二戸市になるよう、これからの新議長にぜひ頑張って頂きたいと思えます。  
(堀野・28歳 女性)

一日も早くコロナ予防接種をやってほしいです。  
(米沢・87歳 女性)

コロナ終息望みの一番です。ワクチンが皆に行きわたった時はいづれか安心してほしいか。それでもしばらくは三密は避けなければ。望みが薄れ災害、難が増すばかり。人口の減少も日本の悩み。  
(浄法寺・81歳 女性)

令和3年2月 臨時会

令和3年2月8日に令和3年2月臨時会が招集され、市長より提出された議案4件が全て原案のとおり可決されました。

臨時会では、第2次二戸市総合計画において、令和3年度から令和7年度までの計画的な行政運営を図る指針となる第2次二戸市総合計画後期基本計画が審議されたほか、新型コロナウイルスワクチン接種に向けた相談窓口や接種会場設営、道路新設改良舗装事業に係る予算等が計上されました。

- 議案第1号 第2次二戸市総合計画後期基本計画の策定について (賛成多数)
- 議案第2号 令和2年度二戸市一般会計補正予算(第12号)  
補正額 7億1,704万円 (全員賛成)
- 議案第3号 令和2年度二戸市下水道事業特別会計補正予算(第3号)  
補正額 1,700万円 (全員賛成)
- 議案第4号 令和2年度二戸市土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)  
補正額 9億円 (全員賛成)

議員全員協議会【定例】を開催(4月)

令和3年4月15日(木)、市議会議員全員協議会が開催されました。定例の議員全員協議会とは、議会自らが定例的に開催するもので、原則毎月15日(定例会開催月(3月、6月、9月、12月)及び2月、8月を除く)に開催しています。令和3年度、初回となる今回は、当局より3件の説明事項がありました。

【説明事項】

- 新型コロナウイルスワクチンの接種について
- 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)について
- 令和3年度から開始する諸計画について

【協議・報告事項】

- 令和3年第1回二戸地区広域行政事務組合定例会
- 令和3年2月岩手県後期高齢者医療広域連合組合議会定例会
- 令和2年度第2回二戸市都市計画審議会
- その他

議会のネット中継

議会中継の映像はインターネット上で配信しています。パソコンやスマートフォン・タブレットでいつでも本会議の様態をご覧になれます。二戸市議会ホームページまたは右のQRコードからアクセスください。



会議録を公開しています

本会議の会議録は、市役所1階情報公開コーナー、市立図書館、浄法寺カシオペアセンターに備えてあります。平成18年度以降の会議録は二戸市議会ホームページから閲覧・検索することもできます。

一般質問をラジオで放送しています

定例会の一般質問は、カシオペアFM(周波数77.9MHz)で録音放送をしています。放送日程は、二戸市議会またはカシオペアFMのホームページでご確認ください。





# 福岡工業高等学校の 存続を願って

福岡工業高等学校同窓会  
会長 <sup>なかおくとかひろ</sup> 中奥 孝宏 さん（写真右）  
（（有）カーネットワーク代表）



このコーナーでは、市民の皆さまのまちづくりに対する思いを紹介し、掲載を希望する方は、お気軽に二戸市議会事務局へご連絡ください。

今議会に当同窓会より提出いたしました「福岡工業高校の存続を求めるための陳情書」が、議員皆様の全会一致で採択された事に対して感謝を申しあげます。議会に陳情書を提出したのは初めてですが、採択されたことにより議会を身近に感じる事が出来ました。3月15日には「福岡工業高校を守る会」が設立され、私が会長に就任いたしました。これからも工業高校の存続を願い活動して行きたいと思っておりますので、皆様方のご理解と、ご協力をよろしくお願いいたします。

よく読めば答えが見つかる！

## 議会だよりクイズ

下の●に当てはまる数字を入れてください。

「相馬大作没後 ●●● 周年  
記念顕彰事業の令和3年度予算  
は340万円です」

### ◆ 応募方法

クイズの答えと住所、氏名、年齢、**議会へのご意見や議会だよりを読んだ感想などを必ずご記入**のうえ、ハガキやファックス、電子メールにてご応募ください。正解者の中から抽選で5人に二戸市共通商品券1,000円分をお贈りします。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

※ご意見、感想等は議会だよりの紙面でご紹介させていただくことがありますのでご了承ください。（氏名非公開）

### ◆ あて先

〒028-6192 二戸市福岡字川又47  
二戸市議会事務局 議会だより係  
FAX：0195-23-1633 / メール：gikai@city.ninohe.iwate.jp

### ◆ 締切

令和3年7月1日（木） ※当日消印有効

（前回の答え…「令和2年度一般会計補正予算、GIGAスクール推進事業の補正額は1,535万円です。」）



## 6月定例会を 開催します

## 議会を傍聴 してみませんか

次回の定例会は、6月15日（火）に開会の予定です。詳しい日程につきましては、二戸市議会ホームページでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

本会議は当日の受付で傍聴できます。傍聴を希望する場合は、議会開催日に市役所3階へお越しください。車椅子をご利用の方も傍聴可能です。また、市役所および浄法寺総合支所の1階ホールでは、テレビで議会中継を見ることができます。 ※3月定例会の傍聴者は、33人（延べ）でした。

（現在、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、傍聴人数の制限、マスクの着用をお願いしています。）

委員	菅原 恒雄	委員	高村 人司	副部長	小田島 行伸	部長	田口 一男	委員長	内沢 真申	（広報部会）	委員長	内沢 真申
----	-------	----	-------	-----	--------	----	-------	-----	-------	--------	-----	-------

（高村 人司 記）

令和3年度の予算も無事に成り立ちました。今回の予算には、新型コロナウイルスのワクチン接種に関する予算が含まれております。二戸市も5月より、ワクチン接種が高齢者から順次実施されています。接種の際は、皆様のご協力ですスムーズに行われますようお願いいたします。

ところで、最近、市民の皆様から、カタカナ用語が多くて言葉の意味がよく分からないとの声が聞かれます。我々議会だよりの編集委員も市民目線で、分かりやすい紙面づくりに心掛けて参りたいと思っております。

## 編集後記

二戸市議会のホームページ（市ホームページよりアクセス）  
二戸市議会のメールアドレス

<http://www.city.ninohe.lg.jp/gikai@city.ninohe.iwate.jp>

右のQRコードからホームページにアクセスできます→

